

## 北神けいろいろの国政報告：12月号

日頃より大変お世話になっています。

○ 先月末に平成22年度補正予算が可決成立しました。景気が厳しくなっている中で、自民党や公明党などの要求を盛り込んだ補正予算でした。ところが、なぜか自民党・公明党などが反対したため、参議院では否決をされ、衆議院優越の原則の下、かろうじて成立することができました。

○ 今回の補正予算の規模は、4.8兆円に及ぶものであります。別途、公共事業の前倒しも景気対策としてやりましたので、これをあわせると5.1兆円程度になります。

大きく中身については、次のとおりです。

- |                                    |                   |
|------------------------------------|-------------------|
| <b>1. 雇用・人材育成</b>                  | <b>3, 199億円</b>   |
| <b>2. 新成長戦略の推進・加速</b>              | <b>3, 369億円</b>   |
| <b>3. 子育て、医療・介護・福祉等の強化による安心の確保</b> | <b>1兆1, 239億円</b> |
| <b>4. 地域活性化、社会資本整備、中小企業対策</b>      | <b>3兆706億円</b>    |

○ 雇用の面で大事なのは、若者・新卒者に仕事をしていただくことです。しかしながら、一方で、中小企業は地域や雇用を守りながらも、人手不足に悩まされている現実があります。

今度の補正予算では、学生さんに、インターンとして中小企業で経験をしていただいて、正規の就職につなげていく支援制度を盛り込みました。

また、農村地帯の医師不足の問題があります。これについては、地域医療再生基金を拡充しました。介護の人手不足も目に余るものがあります。これについて、重点的に介護職員を増やすための雇用創造事業も拡充しました。

地方対策としては、自治体に配る地方交付税の増額をはじめに、学校施設の耐震化や農林業の育成支援も推進してまいります。

○ 将来に向けた、経済成長戦略としては、1) エコ住宅やエコ家電の普及促進、2) バイオなどの医療分野の研究開発の加速、3) 道路や新幹線など海外へのインフラ輸出支援、4) 宇宙技術など最先端の研究開発の推進を盛り込んでいます。

○ 今回の補正予算は、菅政権の景気対策の3段構えのうち、第二段であります。第一段は、すでに平成22年度予算の予備費で動き始めています。また、今、編成中の来年度予算で引き続き地域の景気を活性化するための政策を力強く実行してまいります。少し、円高が一服し、株価も安定しつつありますが、世界の景気情勢から油断はできません。私も経済産業委員会の理事として、全力で経済の活性化に取り組んでいくことをお誓い申し上げます。